

バンケットエリアのリニューアルプロジェクト

GRAND HYATT TOKYO

Hotel GRAND HYATT TOKYO
Designer Nao Taniyama / NAO Taniyama & Associates設計／NAO Taniyama & Associates 谷山直義 林田まみ 三島奈都美
協力／内装設計 入江三宅設計事務所 宇賀博之 倉上厚子
照明計画 ヒカリデザイン 若井 修
施工／高島屋スペースクリエイツ
撮影／佐藤振一（特記除く）

2階バンケットエリアの中央に設置されたセンターバー。アンティークの棚をラフに積み上げた状態をイメージした什器には、ボトルやグラスが並ぶ



上／センターバーの周囲は、アンティーク家具の引き出しなどを型にしたGRCの造形に特殊塗装が施されている
下左／GRCの造形には、型に使用されたアンティーク家具を持つ表情がそのまま表現されている 下右／エスカレーターまわりの吹き抜けに面して設置されたアートピースは、さまざまなドアや窓をイメージしてつくられた



「ギャラリー」と名付けられたホワイエの壁面には、まるで一部が漆黒の世界になっているかのように、棚やディスプレイがスチールなどで仕上げられている

ホテルの姿勢を示す「居住観」

「六本木ヒルズ」(03年7月号)開業と共にオープンした「グランド ハイアット 東京」が、六本木という場所に特別な場を創出し続け、早13年。「役割を担う」という言葉がこれほどフィットするホテルは、日本中を探してもそう多くはないだろう。

そんなグランド ハイアット 東京が今、次なるステージへと変容を遂げようとしている。

今回、我々がデザインしたのは、2階のパンケッタエリア。日本のホテルにおけるゲストのニーズが多様を極め、その多様化を機能面から押し進めることで生じる“絢爛で無害な環境”という“有害”が、昨今のホテルでは目に余ることが多い。この現状において、ハイアットは常にその時代を鋭角に切り取り、エッセンスを抽出することで、今日のブランドを築き上げてきた。

一連のプロジェクトの中で浮かび上がったのは、至ってシンプルな「居住観」という言葉だった。だが、この“観”という言葉は、「表面的で常識的な見方」という意味と共に、「物事の表面的な有り様を突き抜けてその本質を見透かす智恵の働き」という意味がある。つまり、ここで我々がデザインとして提示すべきものは、世間一般に漂うレジデンス感(居住感)とは一線を画す、角度をつけて鋭く、そして深々と切り込み、

その奥にある本質を捉えようとする姿勢そのものでなくてはならなかった。

この空間は、従来期待されているホテルバンケットとしての使用性や価値観に大きな変化をもたらす場となることだろう。その変化こそが、グランド ハイアット 東京が提供できる唯一無二の“こと”であり、その姿勢は引き継がれなくてはならない。これからも変わり続けるハイアットブランドの中において変わらない唯一の“こと”として。

(谷山直義)

「グランド ハイアット 東京」data

所在地：東京都港区六本木6丁目10-3

工事種別：内装のみ 部分改装

床面積(改装部分)：772 m²

工期：2016年7月10日～8月24日

施工協力：空調設備／三機工業 電気設備／九電工 給排水衛生設備／三建設備工業 廚房設備／フジマック 三建設備工業 照明器具／大光電機 九電工 映像設備／ジャニー 家具／JTB商事 什器／キワ・エンジニアリング

営業内容

開店(リニューアル)：2016年8月28日

電話：(03)4333-1234

経営者：株式会社スピタリティコーポレーション

運営者：ハイアット インターナショナル アジアパシフィックリミテッド

客室数：387室(うちスイート28室)

従業員数：約720人

主な付帯施設：レストラン・バー 会議・宴会施設 グランドクラブ ビジネスセンター ブライダル施設 スパ・フィットネス



ギャラリーに設置されたテーブルの背後には、コート掛けのアートワーク。ジャケットも黒いハットもすべてスチールでリアルにつくり込まれたもの(写真提供／GRAND HYATT TOKYO)



左上／「ドローリングルーム」と名付けられたバンケット。あえて傾斜状に仕上げた柱部分には、和紙を使用したオリジナルの照明器具が並ぶ 右／ドローリングルーム壁面には、鉄や銅、真鍮、鉛で額縁の裏側を表現したアートピースを配した 左下／バンケット「コリアンダー」の天井には、LED照明やムービングライトが設置され、光の演出を可能にしている。また奥の壁面には、192インチのフルHD LEDスクリーンが設置され、右側の開口部から日差しが入る状況でも、鮮明な映像を楽しむことができる（3点とも写真提供／GRAND HYATT TOKYO）

